



# 4 取付・設置の前に

## 製造事業の届出

●工事現場で取り付ける場合を除き、家具製造業者等が製造活動として家具等に取り付ける場合は、電気用品安全法の規定により、乙種電気用品の製造事業の届出が必要です。



## 電気工事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

### 専用回路と漏電しゃ断器の設置

●電源ブレーカー付きの専用回路を設置してください。  
 SIH-TH113B: 100V・15A以上  
 SIH-TH213B: 単相200V・15A以上  
 SIH-TH213Bの場合は、漏電しゃ断器を必ず設置してください。

### コンセントの設置

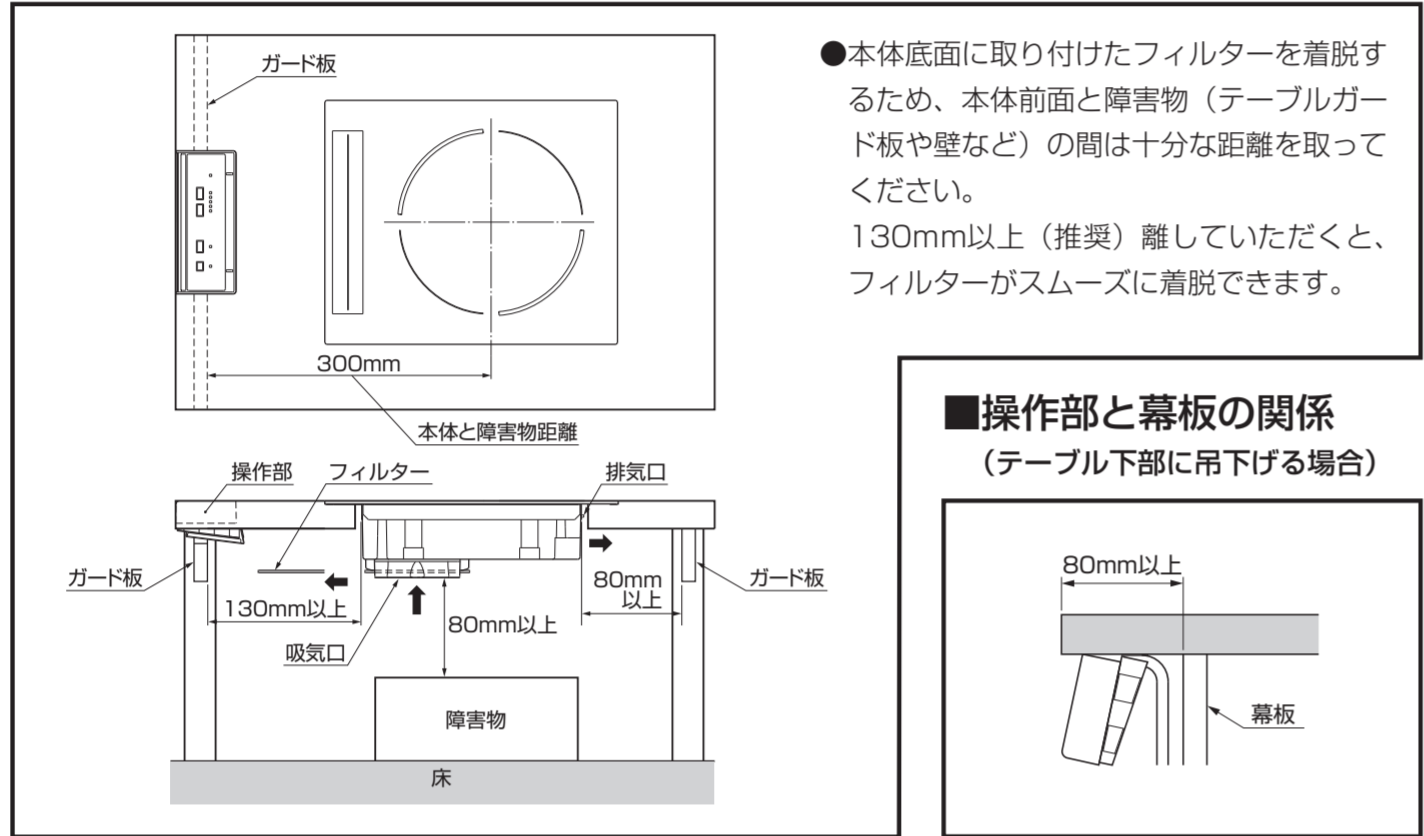
●下記のコンセントを設置してください。  
 SIH-TH113Bの場合: 100V用 定格 125V-15A  
 SIH-TH213Bの場合: 単相200V用 定格 250V-15A (接地極付)  
 コンセント形状  コンセント形状 

### 接地工事 (200V 仕様の場合)

●D種 (第3種) 接地工事を必ず行ってください。接地線は、専用コンセントのアース端子に接続してください。

## 設置位置

### ■本体と障害物との間



●本体と操作部の接続コードは90cmです。届く範囲に操作部を取り付けてください。途中で幕板等がある場合は、それも見込んでください。

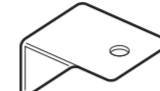

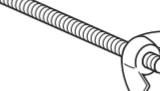


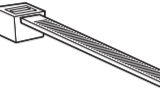
### ■本機を並べて据え付ける場合

●縦方向に2台並べる場合は、互いに外側へ排気するように吸気口を向かい合わせてください。  
 ●横方向に2台以上並べる場合は、吸気口側・排気口側を同一方向にしてください。



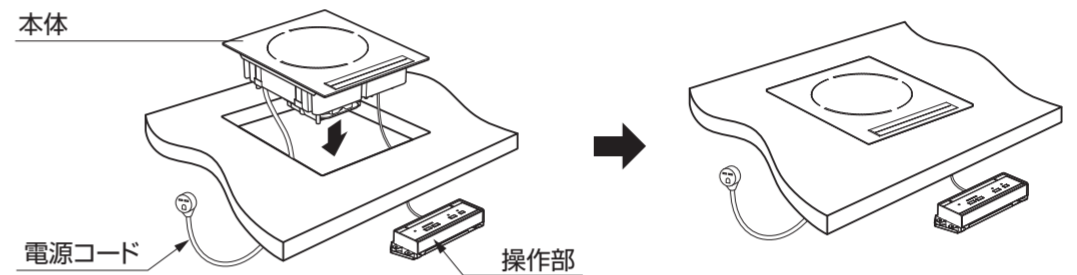
# 5 設置方法

## 付属品の確認

固定金具	コード押さえ	蝶ねじ (M4×35)	木ねじ (φ3.8×16)	保護チューブ	結束バンド (L100)
 4個	 8個	 4本	 12本	 1本	 2本

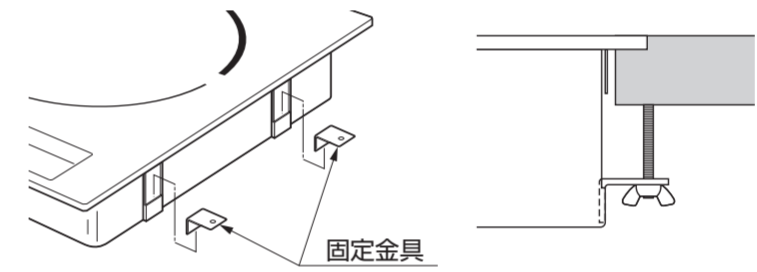
### 1 本体を取付穴にはめ込む

●電源コードを取付穴に通し、本体をテーブルにはめ込みます。  
 ※左右前後の“本体と取付穴のすき間”が均等になるようにはめ込んでください。



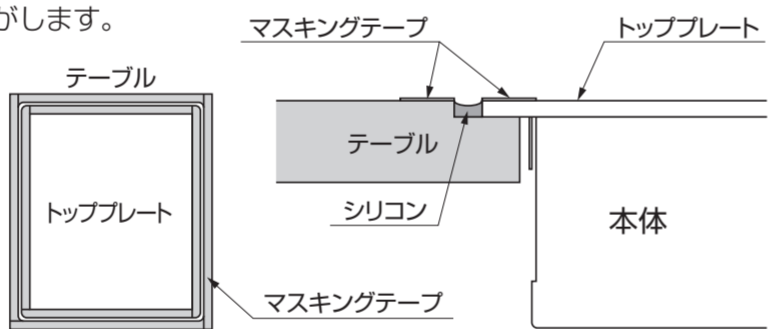
### 2 固定金具で本体を固定する

●本体の固定金具取付位置に固定金具を差込み、下からねじで固定してください。  
 ※蝶ねじは、締め込み過ぎないようにきげんしながら締めてください。



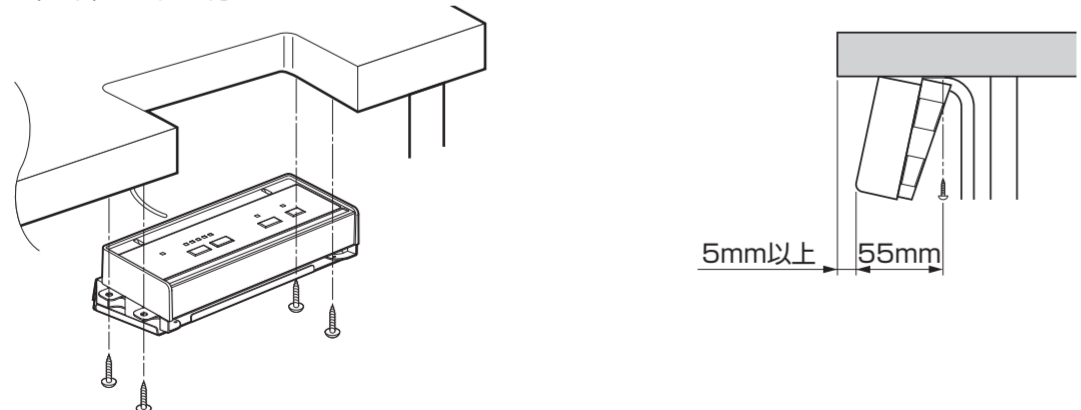
### 3 テーブルとトッププレートすき間にシリコンを塗布し防水処理をする

- ①テーブルとトッププレートにマスキングテープを貼ります。マスキングテープは、粘着力の弱いものを使用してください。コーナー部は、角に合わせてカットしてください。
- ②テーブルとトッププレートとのすき間にシリコンを流し込むように塗布します。余分なシリコンはふきとってください。  
 ※シリコンを塗布する部分のごみや汚れは、取り除いておいてください。  
 ※推奨シリコン: 信越化学工業製KE45または同等品
- ③約30分程度でマスキングテープをはがします。
- ④約1日、テーブルを水平に放置してシリコンを硬化させてください。  
 ※立てたり、横向き、裏返しにはしないでください。  
 ※ごみ、ほこりがシリコンに付着しないよう保護してください。



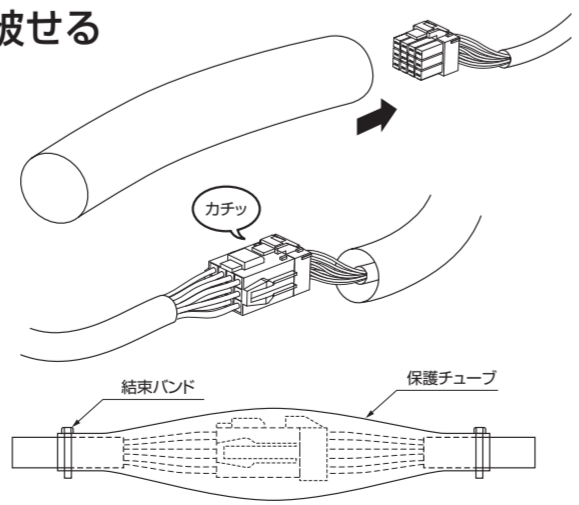
### 4 操作部を取り付ける

- テーブル切欠き部に埋め込む場合  
 ●操作部を切り欠き部に合わせ、固定ネジ (4本) で取り付けます。
- テーブル下部に吊下げる場合  
 ●固定ネジ (3本) で取り付けます。



### 5 接続コードを接続して保護チューブを被せる

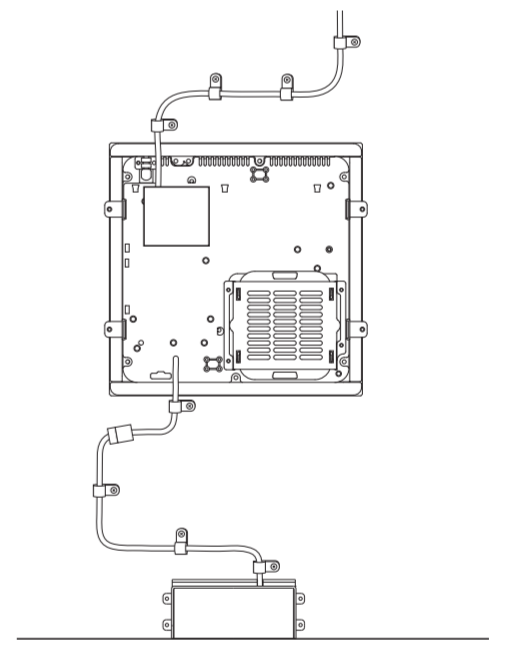
- ①本体側と操作部側のコードのコネクタを外して付属の保護チューブを片側のコードに挿入します。
- ②コードコネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込んで接続します。
- ③保護チューブの中央がコネクタの上にくるまでチューブをずらして付属の結束バンドでチューブの両端を固定します。



※接続コードは別売品延長ケーブル (SAP-924C) を使用することで2mまで延長可能です。延長コードを使用する場合は、コネクタ接続部 (2ヶ所) に保護チューブを被せて結束バンドで固定してください。

### 6 配線を処理する

- 電源コードと接続コードを、付属のコード押さえで固定します。  
 ※電源コードと接続コードは、一緒に固定しないでください。  
 ※本体および操作部からの出口付近は必ず固定してください。  
 ※コード押さえの間隔は50cmぐらいをおすすめします。
- コード巻取りキットを使用する場合  
 ●別売品のコード巻取りキット (SAP-909R) を使用する場合は、キット同梱の説明書をご参照ください。



## 取付・設置完了後の確認

●取付・設置終了後、次の項目を確認し、チェック欄に印をしてください。

確認項目	チェック欄
吸気口	フィルターが取り付けられていることを確認する。(フィルターがずれていないか確認)
防水処理	テーブルとトッププレートの間が防水処理を施されていることを確認する。
外観	・トッププレートが汚れていないことを確認する ・操作パネルシートに傷などのないことを確認する
電気工事	ブレーカー付き専用回路の設置・電源プラグの接続が確実に行われたことを確認する。
電気試験	①電源電圧が機器に合った電圧であることを必ず確認する ②取扱説明書に従って各キーを操作し、作動を確認する ・水を入れたなべを置いて、湯を沸かす。 →しばらくすると、湯が沸く。 ※ なべを置かないでキーを操作した場合、なべ無し検知機能が働いて、全ての火力表示ランプが点滅します。また、火力調節キーも受け付けません。
確認年月日 年 月 日 設置完了確認者	

- 電気試験後は、必ず電源を「切」にしてください。
  - 取扱説明書 (保証書付)、取付・設置説明書は、お客様にお渡しください。
- 〈注意〉通電しますとトッププレートや本体各部が熱くなりますので完全に冷えるまで手を触れないでください。

SHK 三化工業株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目3番12号 石原ビル  
 TEL.03-3239-1819 (代) FAX.03-3234-2532